

国土交通省 令和3年度第1回
サステナブル建築物等先導事業(省CO₂先導型) 採択

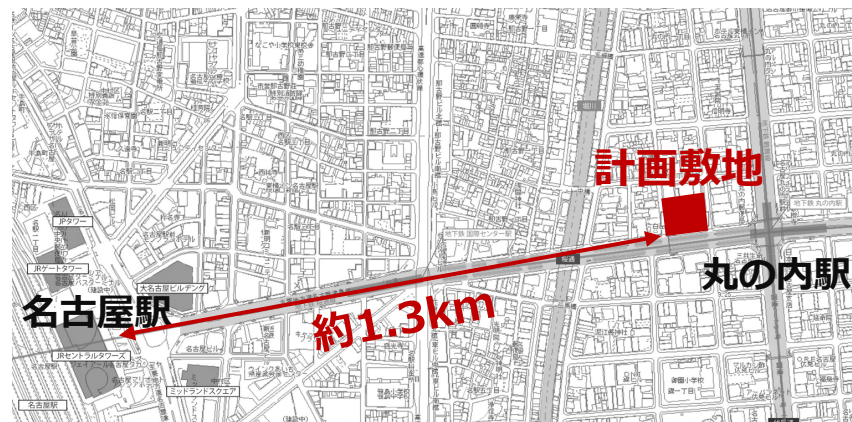
(仮称)名古屋丸の内一丁目計画

清水建設株式会社
富国生命保険相互会社
清水総合開発株式会社

計画概要

名古屋シミズ富国生命ビル

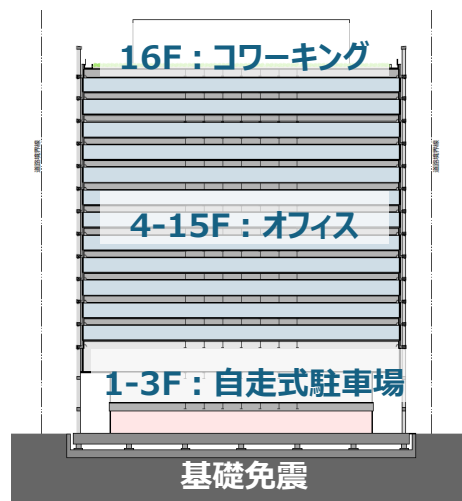
所在地 : 愛知県名古屋市中区丸の内一丁目16番15号
用途 : 事務所、駐車場
敷地面積 : 4,820.79㎡
延床面積 : 47,963.16㎡ (基準階専有部面積 : 2,362㎡)
規模 : 地上16階
構造 : 鉄筋コンクリート造 (一部鉄骨造)、基礎免震
事業主 : 清水建設株式会社
富国生命保険相互会社
清水総合開発株式会社
設計施工 : 清水建設株式会社
工期 : 2021年10月～2024年3月



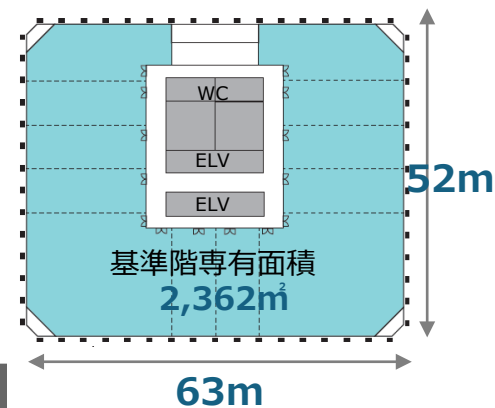
計画位置図



外観



フロア構成図



基準階概略図

環境性能への取組

BELS認証★★★★★「ZEB Ready」の取得

- ・基準一次エネルギー消費量比59%のエネルギー削減を実現

CASBEE Sランク の取得

グリーン電力の使用

- ・使用電力を再生可能エネルギー由来の電力とし、ビル全体での実質的なカーボンニュートラルを実現

環境性能やエネルギー消費量の発信

- ・エントランスホールでのデジタルサイネージにて、ビルの消費電力や、屋上での発電量をリアルタイムで発信
- ・入居者専用のアプリにて、ビルのエネルギー利用状況をリアルタイムで発信



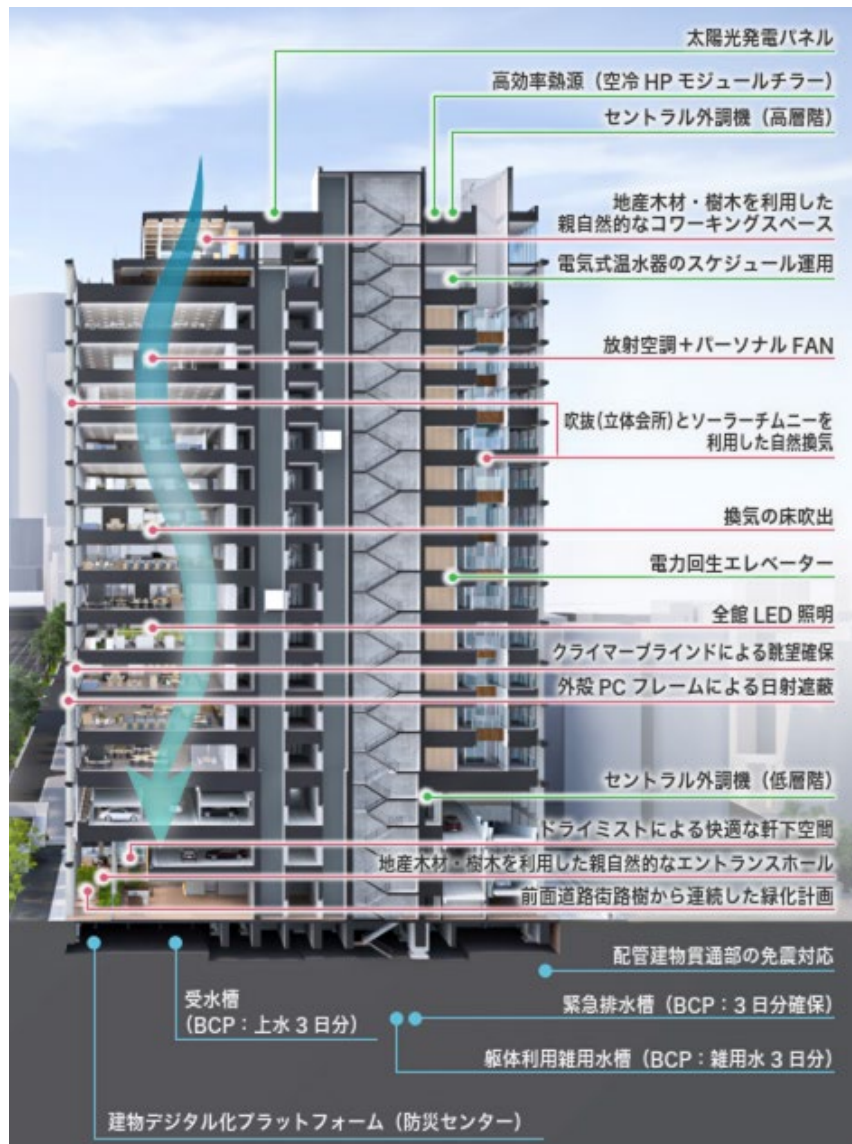
エントランスホールでの発信



入居者専用ウェブサイトでのエネルギー利用状況の発信

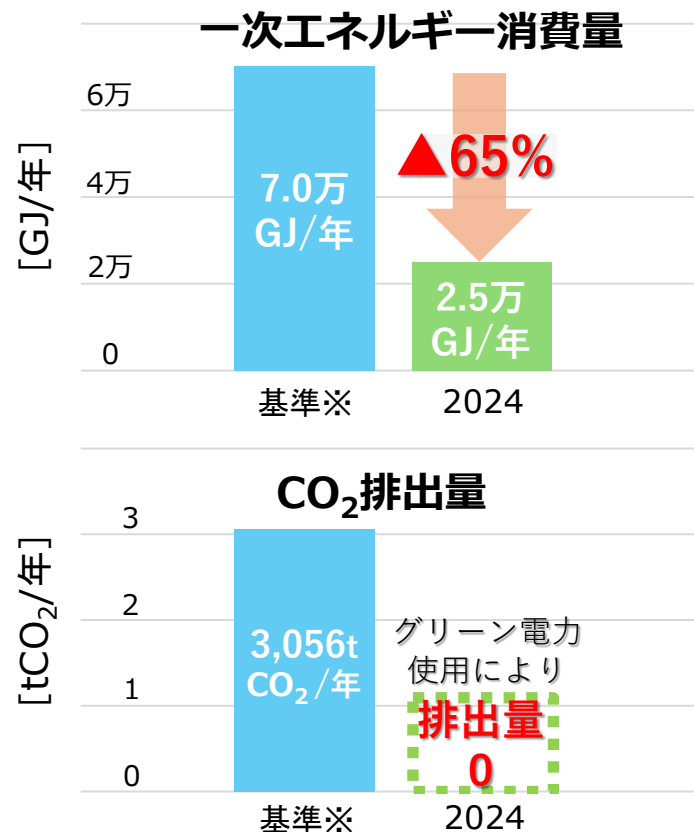
省エネルギーシステム と エネルギー消費量

運用しているエネルギーシステム



イメージ断面図

2024年度のエネルギー消費量



※ 竣工時の省エネ適合性判定によるBEI計算（標準入力法）での基準値を使用

注）2024年度は開業初年度に伴い、空室・入居工事期間も多く、想定よりもエネルギー消費量は少なかったと考えられる。ビルの安定稼働期となる2025、2026年度も計測予定。

多様な働き方に応える超環境配慮型オフィス

- ①新しい働き方を支える次世代環境技術による、
ニューノーマル時代のワークプレイスの創出
- ②人と建物の連携と安全安心を支える、
建物デジタル化プラットフォームの導入
- ③地域特性に配慮した、
環境共生型オフィスでの省CO₂推進

① ニューノーマル時代のワークプレイスの創出

フレキシブルな働き方を実現する専有空間

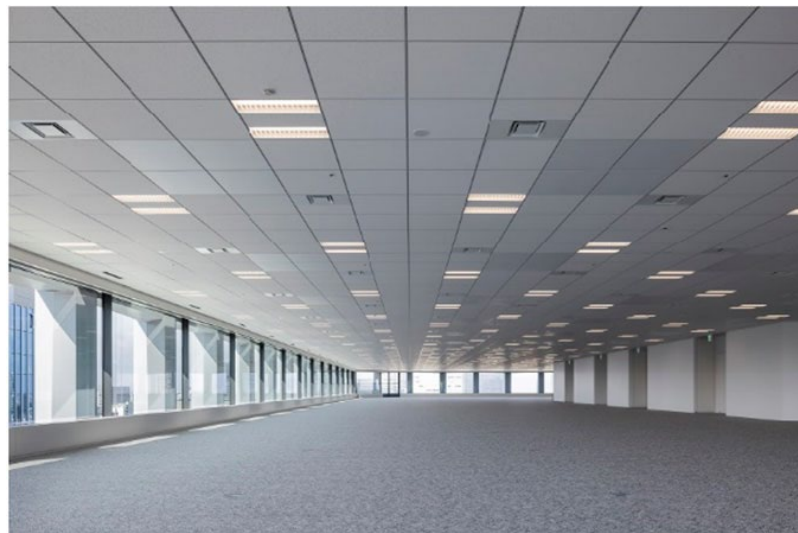
専有部内は完全無柱空間

あらゆるスタイルのワークプレイスづくりが可能に
基準階面積：2,362m²

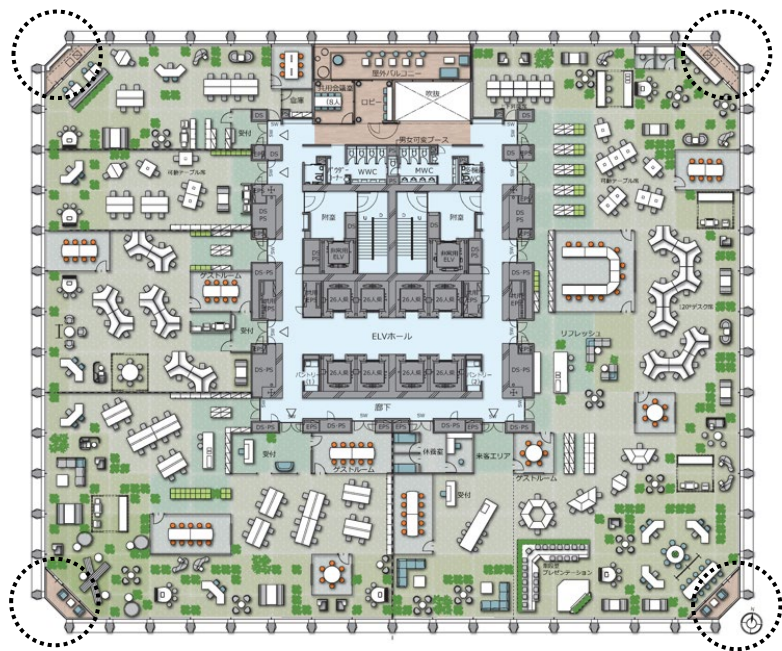
天井高2,900mmを確保

専有部の四隅にバルコニーを設置

気分転換と同時に避難経路としての機能も確保

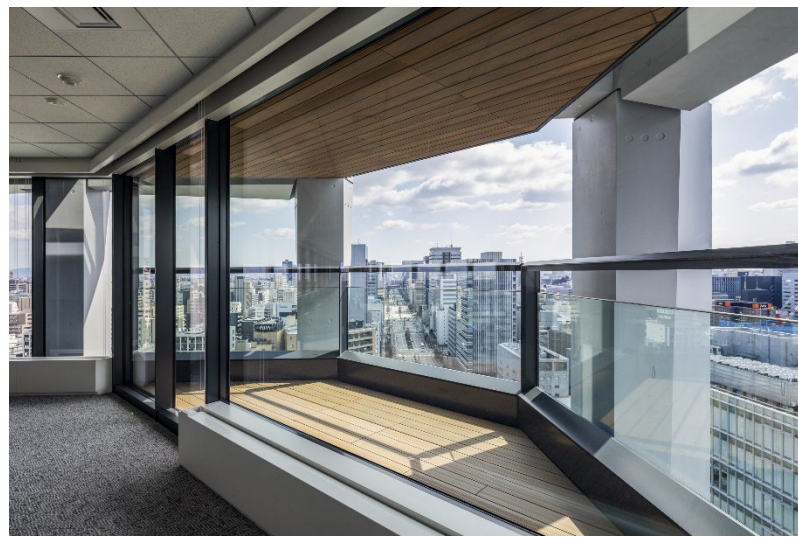


基準階（4～15階）：完全無柱空間



レイアウト例

バルコニー



屋外の空気を感じられる専有バルコニー

① ニューノーマル時代のワークプレイスの創出

多様な働き方を広げる共用部

充実した共用空間を設置し、入居者のフレキシブルな働き方を実現する

イチョウ並木を享受するエントランス

前面道路とシームレスに繋がる親自然空間



天井材に尾鷲産桧、ベンチに尾鷲産杉を使用

自然と融和する屋上サードプレイス

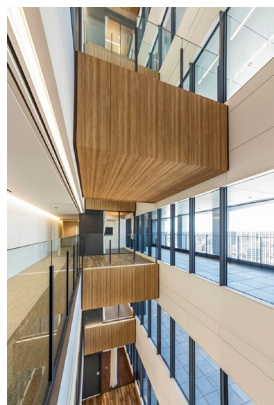
最上階にテナントラウンジを設置



館内ウェブサイトから屋内外のラウンジ混雑状況を把握することが可能

光と風を取り込む立体会所

入居フロアを問わず、各階で利用が可能な吹抜空間、バルコニー、共用会議室



4-16階まで続く吹抜



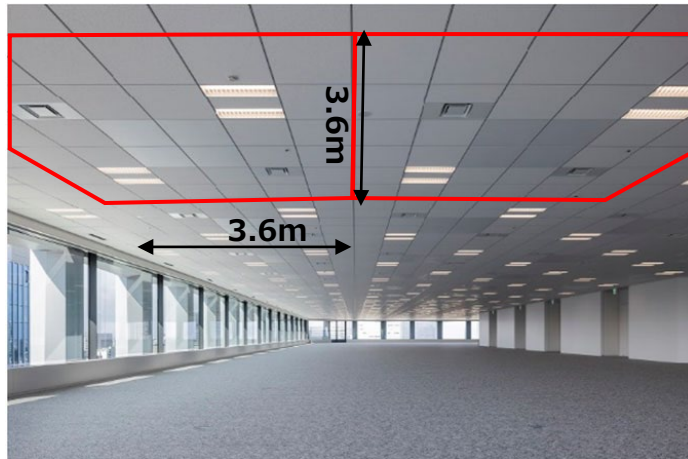
吹抜付近のロビーとバルコニー



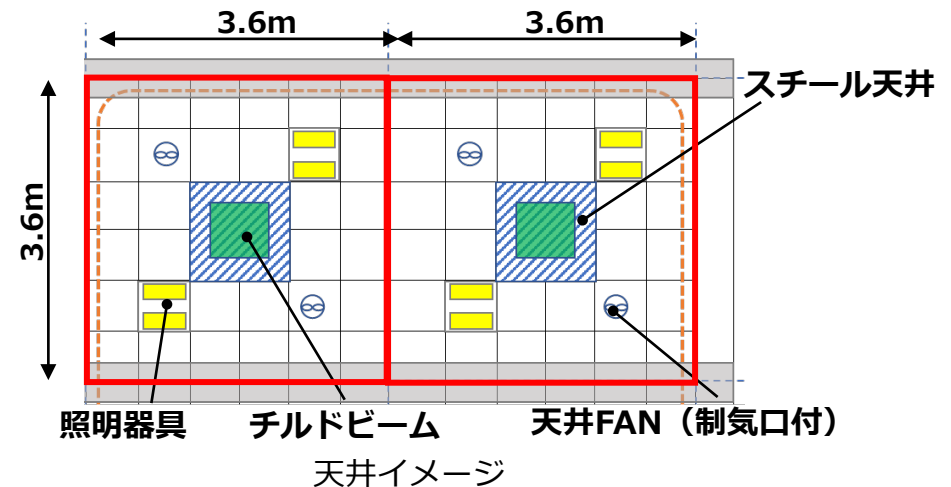
館内ウェブサイトから予約できる共用会議室

① ニューノーマル時代のワークプレイスの創出

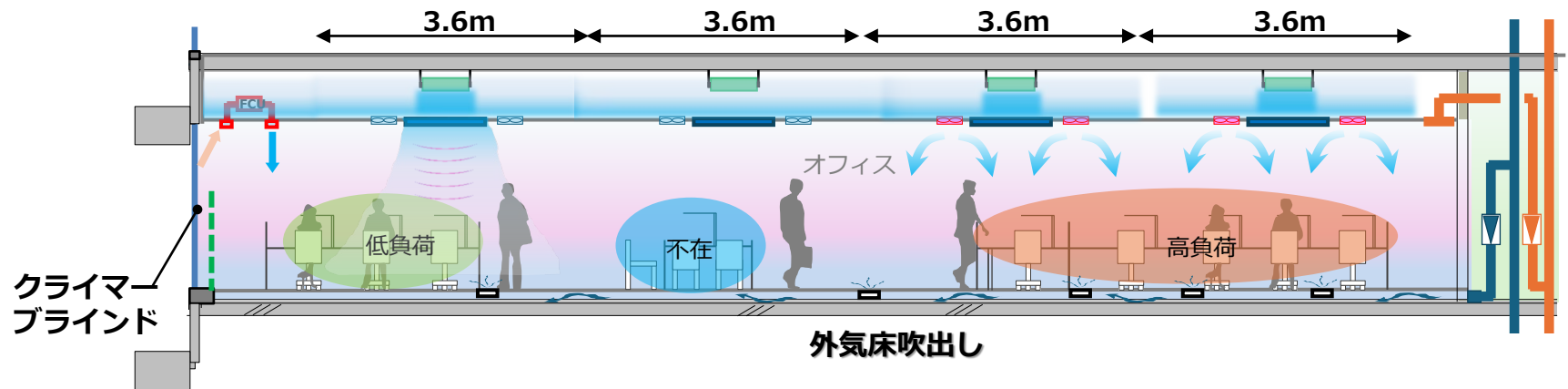
多様な働き方にきめ細かく対応する空調・照明システム（専有部）



専有部内の天井



天井イメージ



専有部の断面イメージ

① ニューノーマル時代のワークプレイスの創出

眺望と快適性を確保したペリメータ環境（専有部）

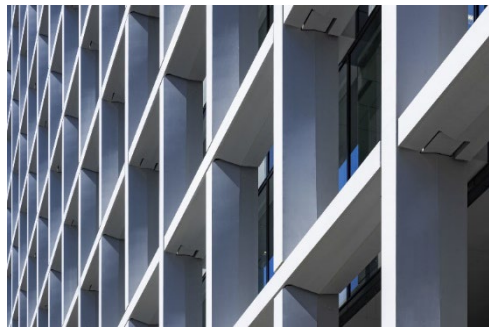
庇効果のある格子状の外殻PCを採用

眺望を確保するクライマーブラインド

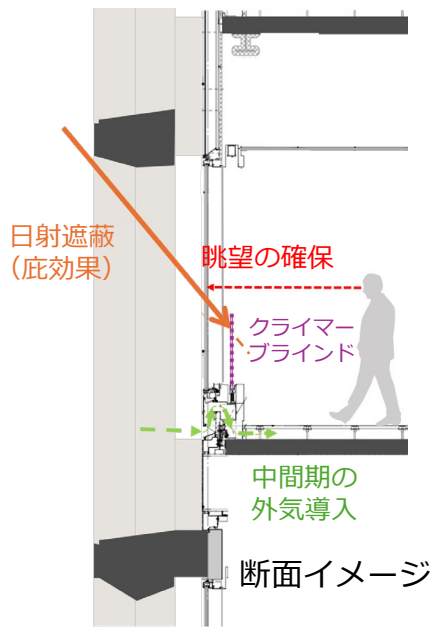
- ・ 日射に合わせた年間スケジュールの設定や1時間ごとの昇降/角度調整を行い、最適なペリメータ環境を実現
- ・ 専有部の昼光利用制御と合わせて、照明消費電力の削減に寄与



外殻PCによる日射遮蔽（庇効果）



格子状の外殻PC（ファサード）



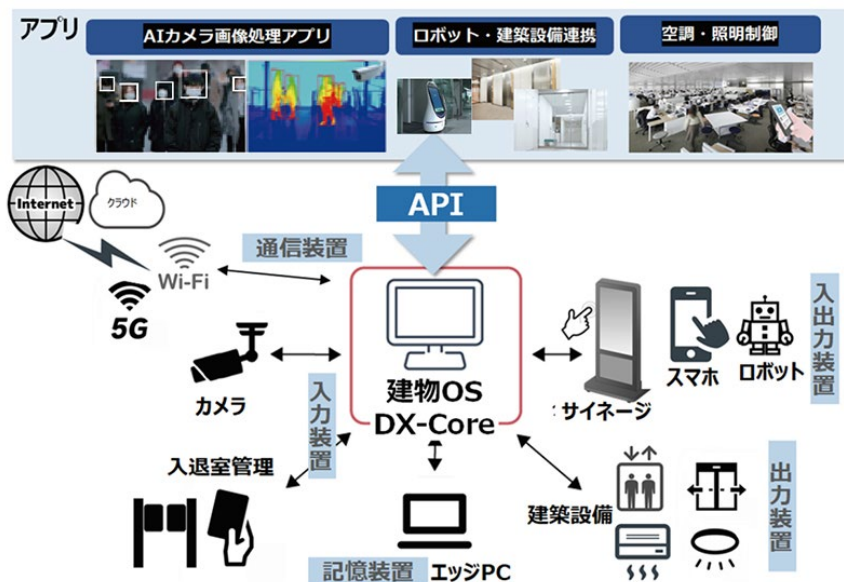
クライマーブラインドによる遮光

② 建物デジタル化プラットフォームの導入

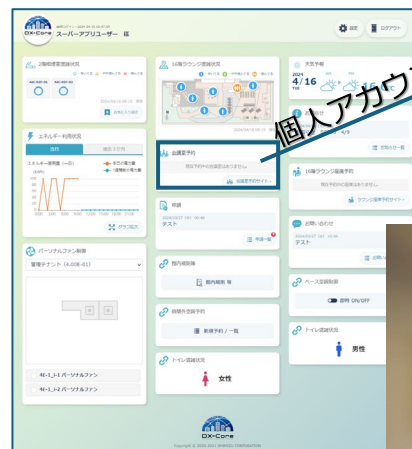
情報連携の高度化による、建物マネジメントサービスの向上を目指す

建物OS「DX-Core」を導入し、建物内の情報相互連携が可能に
入居者、施設管理者の相互をサポートする館内ウェブサイトを開発

- ・ 共用会議室の予約状況に応じて、空調・照明を制御し、使用時間の最適化を実施
- ・ AIカメラと「DX-Core」の連携により、テナントラウンジ等の混雑状況を可視化
- ・ 館内アプリから、専有部の空調（パーソナルファン）の制御が可能



建物OS「DX-Core」の概念図



館内ウェブサイト



予約した共用会議室には、
メールで送られるパスコードで入室可⁹

③ 環境共生型オフィスでの省CO₂推進

高温多湿な地域特性に合わせた潜熱・顕熱分離空調と熱源の高効率化



外調機による潜熱処理



散水機能を持つ冷熱モジュールチラー

カーテンウォール内の外気導入機構

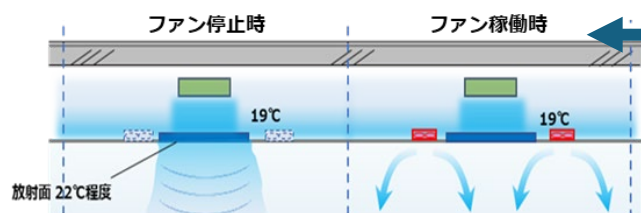
- ・外気条件に応じた自動開閉制御機能により、中間期の自然換気が可能に



外気導入機構(内部・室内側)

チルドビーム+パーソナルファンによる顕熱処理

- ・通常はDX-Coreによる最適な運用
- +ワーカーは館内ウェブサイトからの発停も可能（一部権限者のみ）



空調ユニット システムイメージ



館内ウェブサイト画面